令和８年度 男女共同参画に関する県民意識調査
【ダイジェスト版】

Ⅰ　調査概要

１　調査目的

静岡県男女共同参画基本計画に基づく施策の検証・評価及び今後の施策推進の基礎資料とするため、令和８年度における静岡県民の男女共同参画に関する意識調査を実施した。

２　調査内容

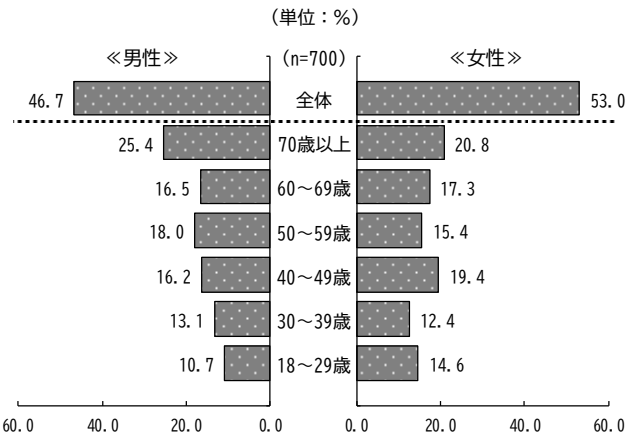
(1) 社会における制度・慣行について
(2) 男女共同参画に関する教育・学習について
(3) パートナー間の暴力について
(4) 男女が共に子育てや介護等に主体的に関わることができる環境について
(5) 意思決定の過程への女性の参画について
(6) 男女が共に能力を発揮できる就業環境について
(7) 地域社会の一員としての活動について
(8) 実践的な取組の推進について
(9) その他（男女共同参画関係・性の多様性等）について

３　調査実施概要

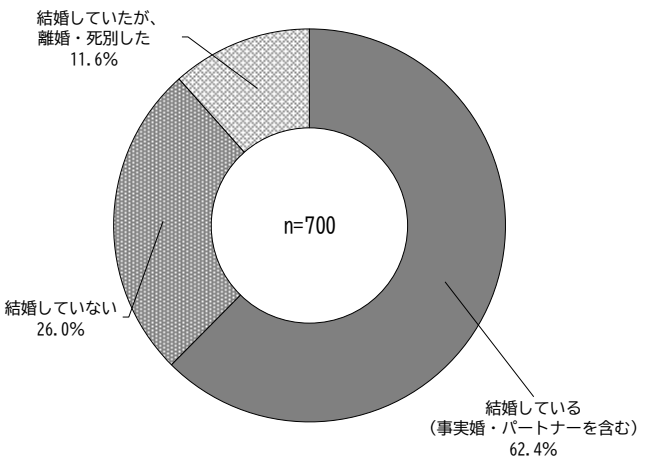
(1) 調査地域　静岡県全域
(2) 調査対象　県内に居住する満 18 歳以上の県民 2,000 人
(3) 抽出方法　層化二段無作為抽出
(4) 調査方法　郵送配布・郵送回収、Web（インターネット）回収併用によるアンケート調査
(5) 調査時期　令和８年７月 23 日～８月 12 日
(6) 調査期間　株式会社サーベイリサーチセンター
(7) 回収状況　発送数　　2,000 人（100.0%）
　　回収数　　700 人（ 35.0%）
　　有効回収数　700 人（ 35.0%）

Ⅱ　回答者の属性

【性・年代】

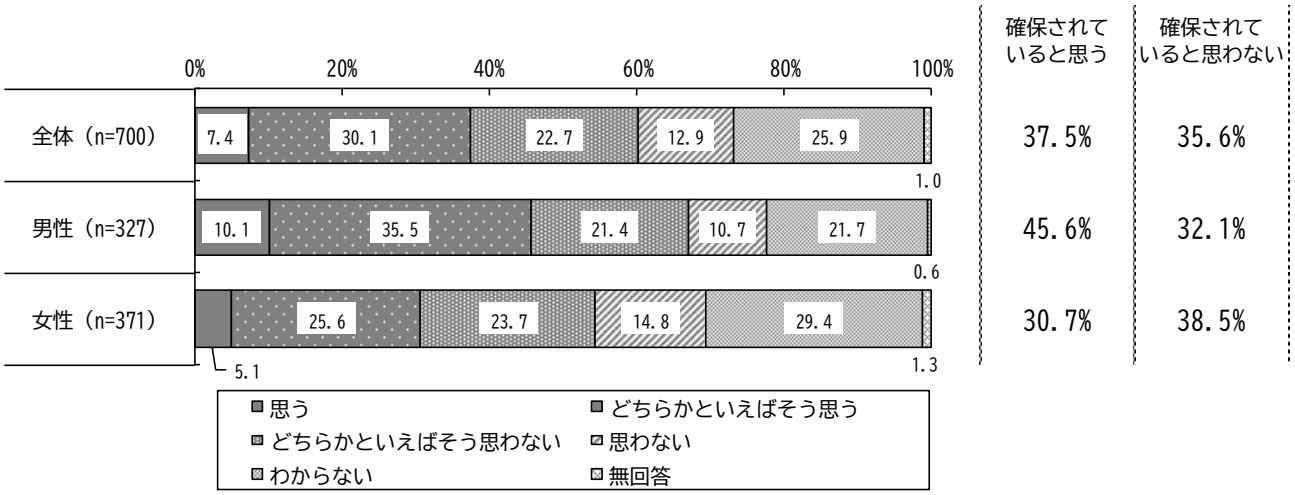


【婚姻状況】



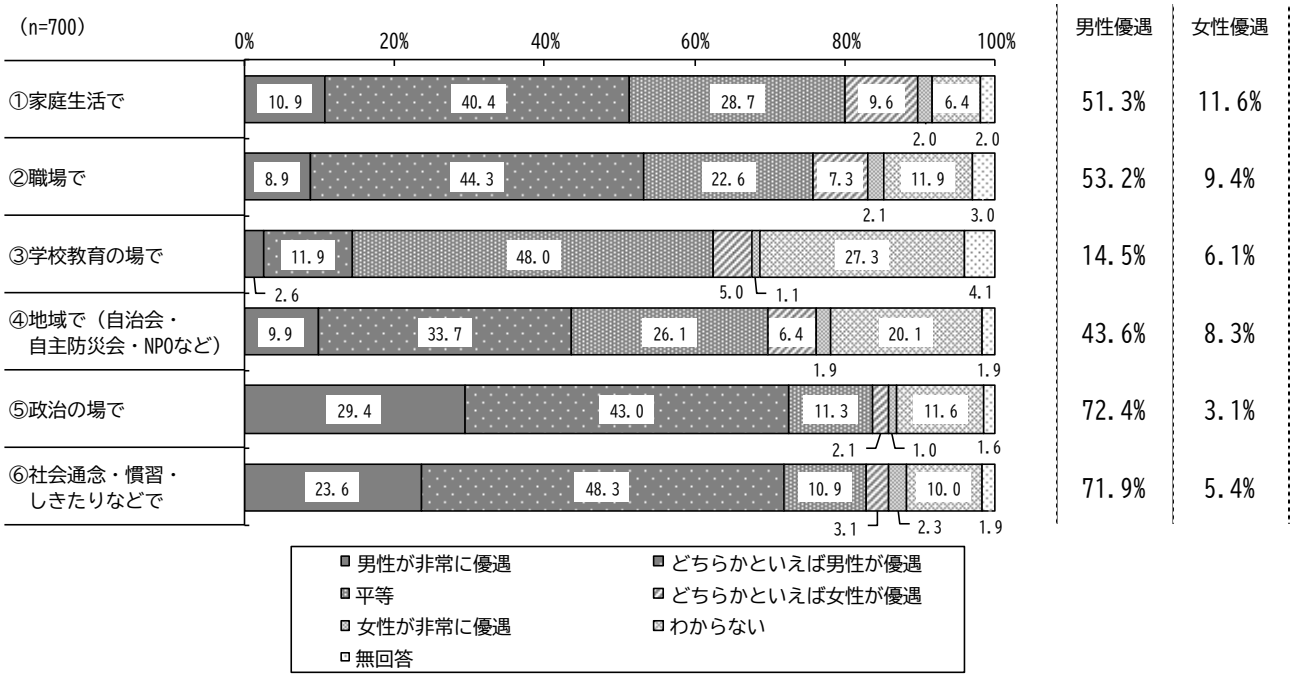
Ⅲ　調査結果概要

Ｑ１．本県において、男女が性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる機会が確保されていると思いますか。



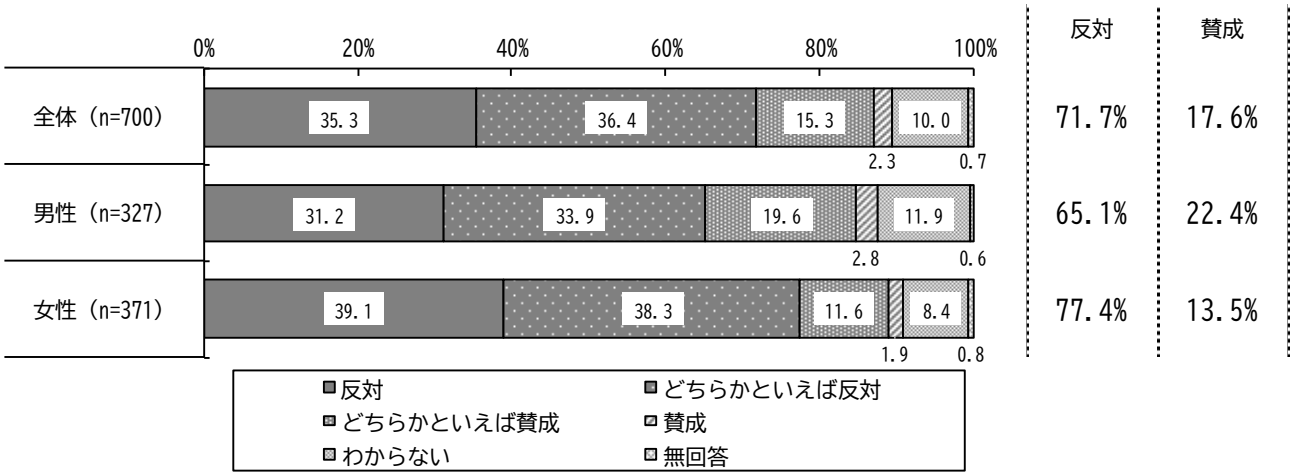
◇男女が性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる機会が確保されていると思う人（「思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は 37.5%で、確保されていると思わない人（「思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）の 35.6%をやや上回っている。また、確保されていると思う人の割合は、女性が男性を 14.9 ポイント下回っている。

Ｑ２．あなたは、次の分野で男女が平等であると思いますか。

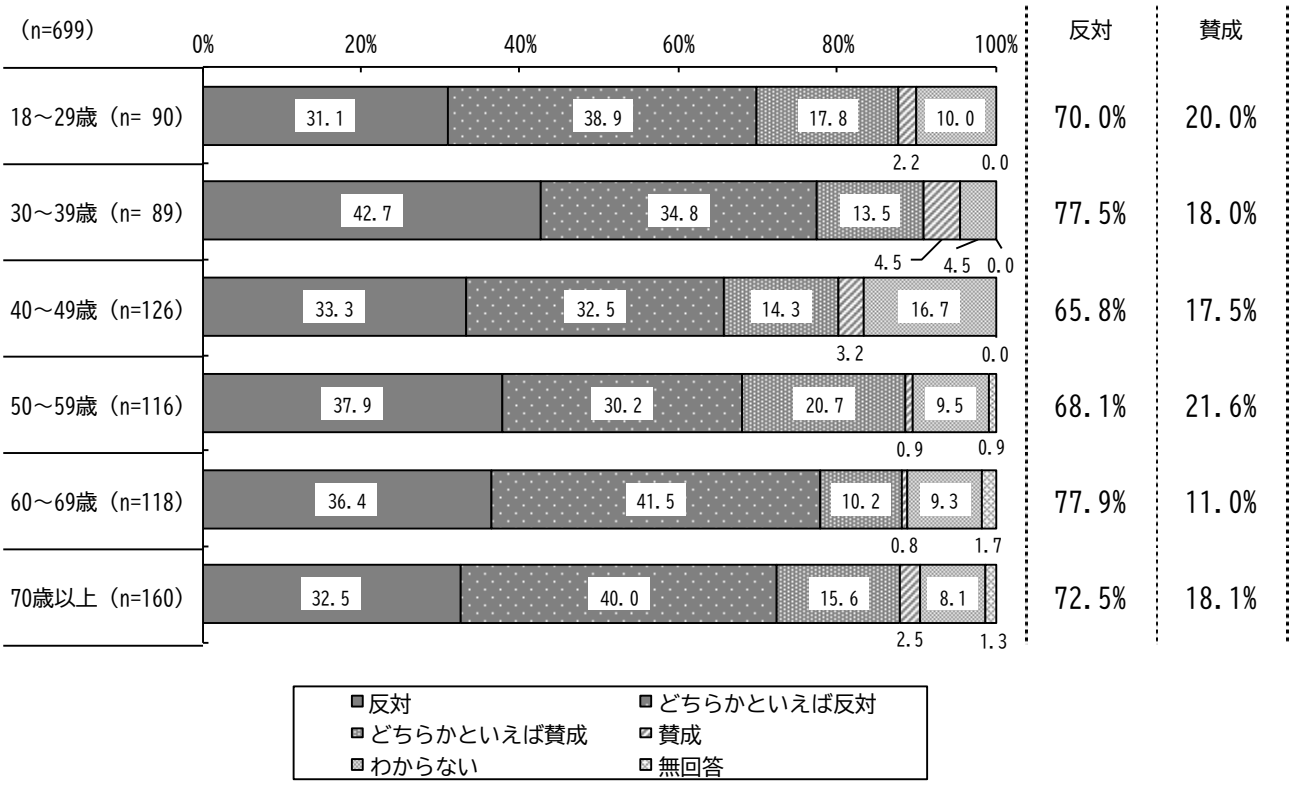


◇「③学校教育の場で」は平等感が高いが、それ以外の分野では、男性優遇だと感じる人が多い。

Q３．「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについて、どのように思いますか。

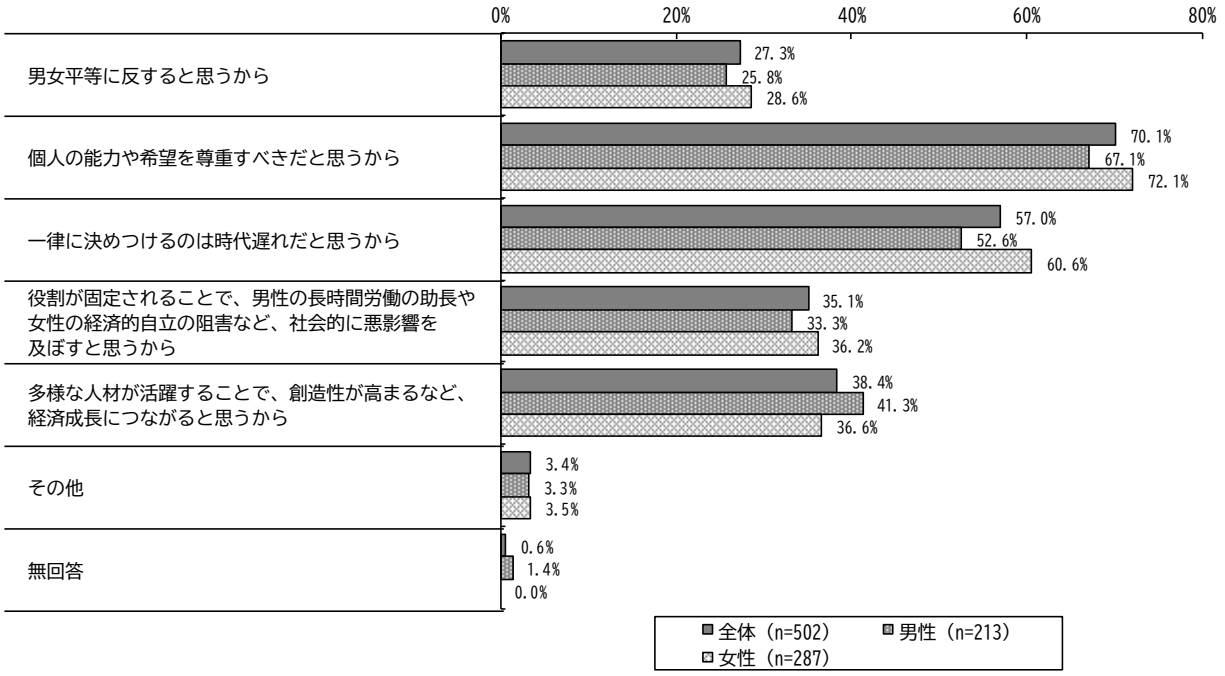


◇反対と思う人（「反対」＋「どちらかといえば反対」）は 71.7%で、賛成と思う人（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）の 17.6%を大きく上回っているものの、前回調査（令和６年度）の 69.8%から微増にとどまっている。また、反対と思う人の割合は、男性が女性を 12.3 ポイント下回っている。



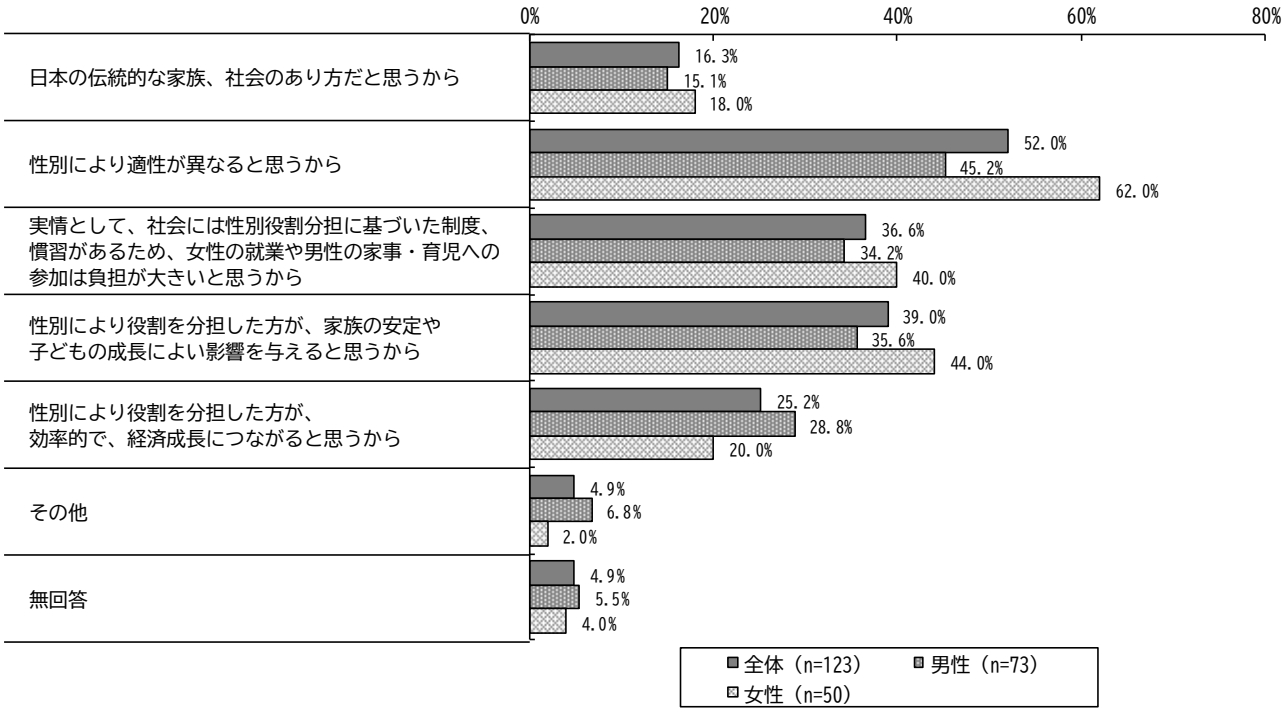
◇男女の役割を固定的に考えることについて、反対と思う人（「反対」＋「どちらかといえば反対」）の割合は、30～39 歳、60～69 歳が高い。

Ｑ３－２．反対と考えるのはなぜですか。（複数回答）



◇男女の役割を固定的に考えることに反対の理由として、「個人の能力や希望を尊重すべきだと思うから」、「一律に決めつけるのは時代遅れだと思うから」と考える人が多い。

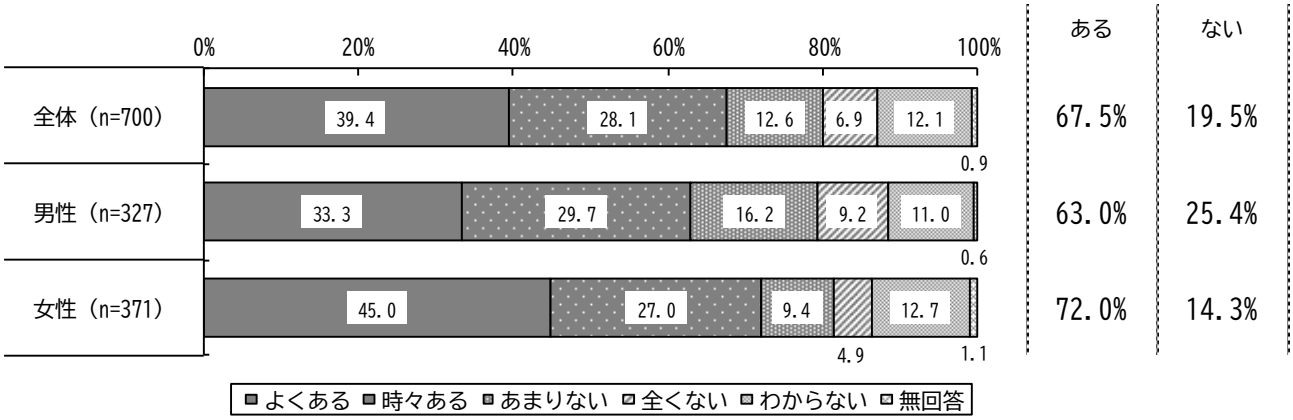
Ｑ３－３．賛成と考えるのはなぜですか。（複数回答）



◇男女の役割を固定的に考えることに賛成の理由として、「性別により適性が異なると思うから」と考える人が多く、特に女性の割合が高い。

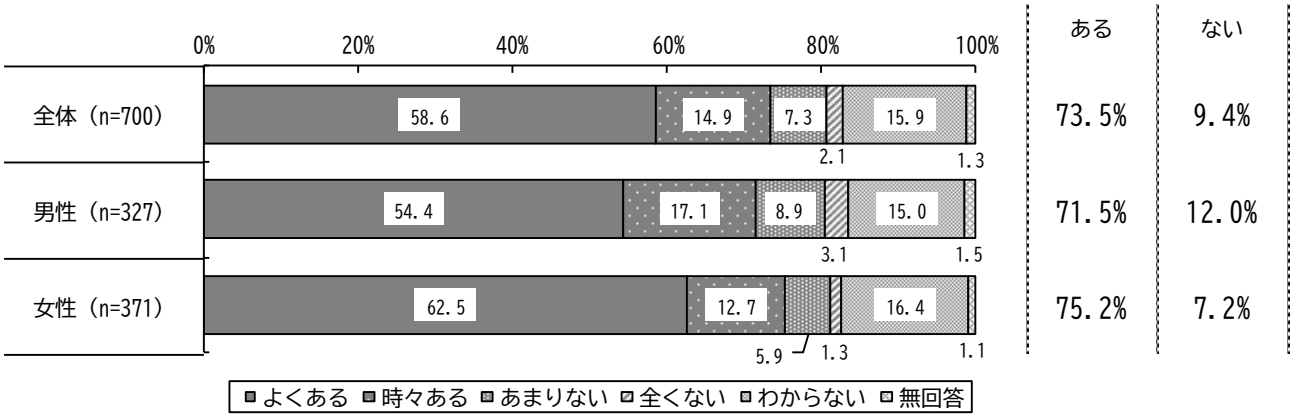
Q４．現在あなたがお住まいの地域や勤務先で、次のようなことはありますか。

○地域や親戚の集まりでの食事の準備やお茶出しは女性の仕事



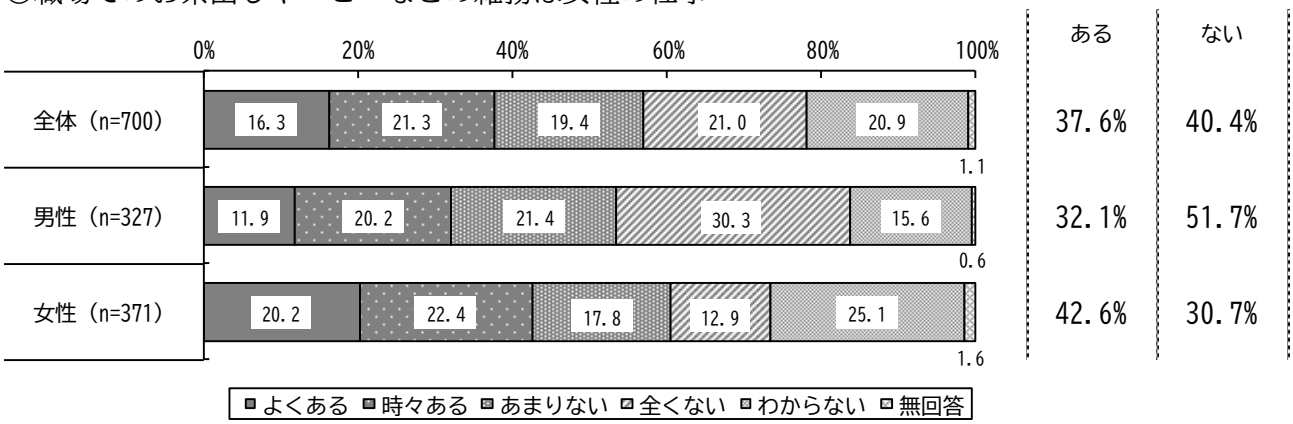
	ある	ない
全体（n=700）	67.5%	19.5%
男性（n=327）	63.0%	25.4%
女性（n=371）	72.0%	14.3%

○自治会長などの重要な役職は男性の仕事



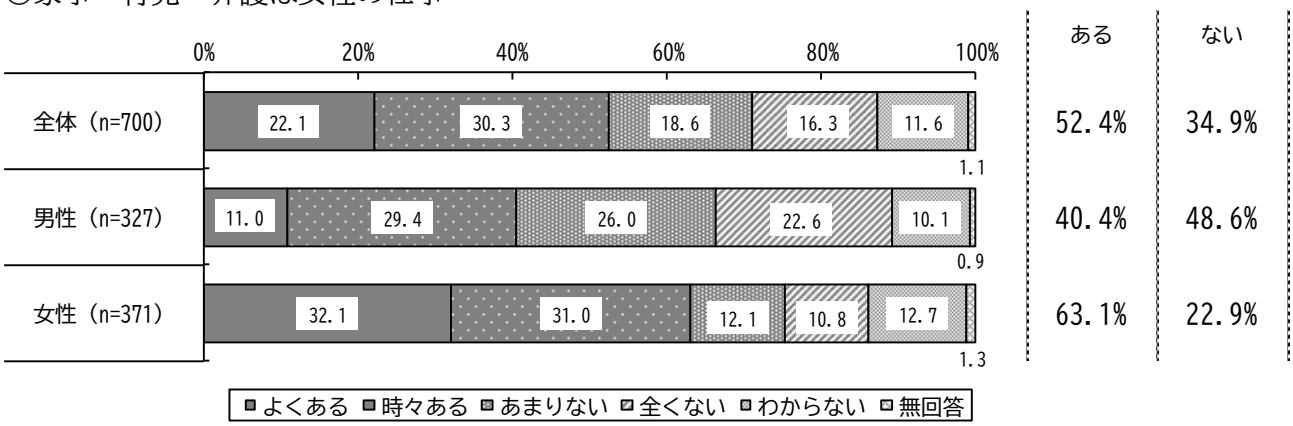
	ある	ない
全体（n=700）	73.5%	9.4%
男性（n=327）	71.5%	12.0%
女性（n=371）	75.2%	7.2%

○職場でのお茶出しやコピーなどの雑務は女性の仕事



	ある	ない
全体（n=700）	37.6%	40.4%
男性（n=327）	32.1%	51.7%
女性（n=371）	42.6%	30.7%

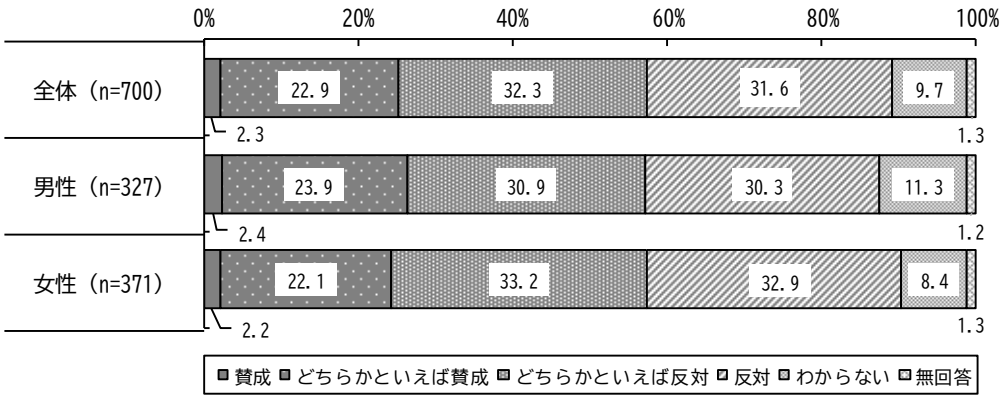
○家事・育児・介護は女性の仕事



	ある	ない
全体（n=700）	52.4%	34.9%
男性（n=327）	40.4%	48.6%
女性（n=371）	63.1%	22.9%

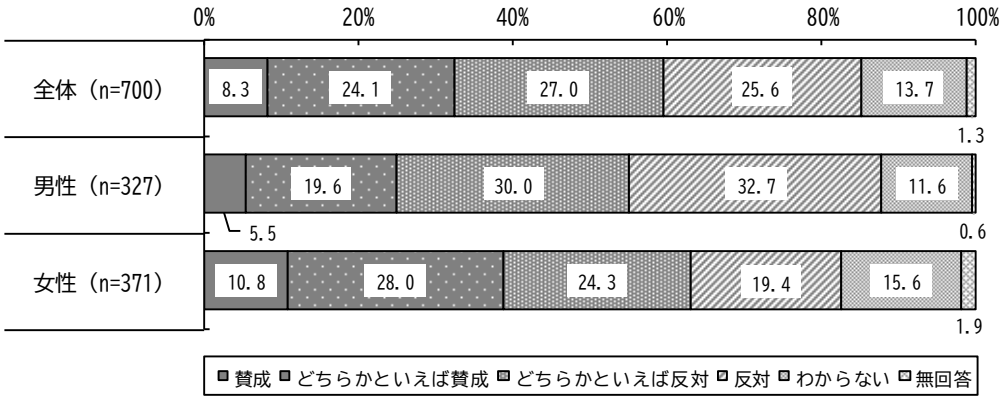
Q５．次のことがらについて、あなた自身はどのように思いますか。

○地域や親戚の集まりでの食事の準備やお茶出しは女性の仕事



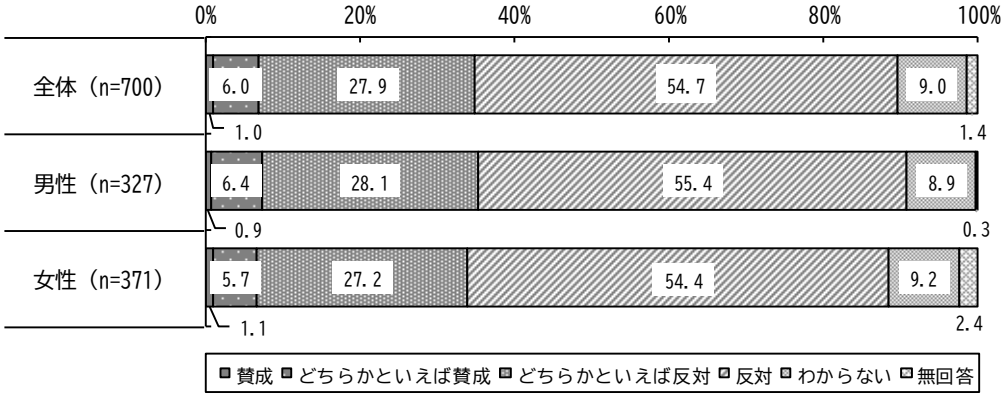
	賛成	反対
全体（n=700）	25.2%	63.9%
男性（n=327）	26.3%	61.2%
女性（n=371）	24.3%	66.1%

○自治会長などの重要な役職は男性の仕事



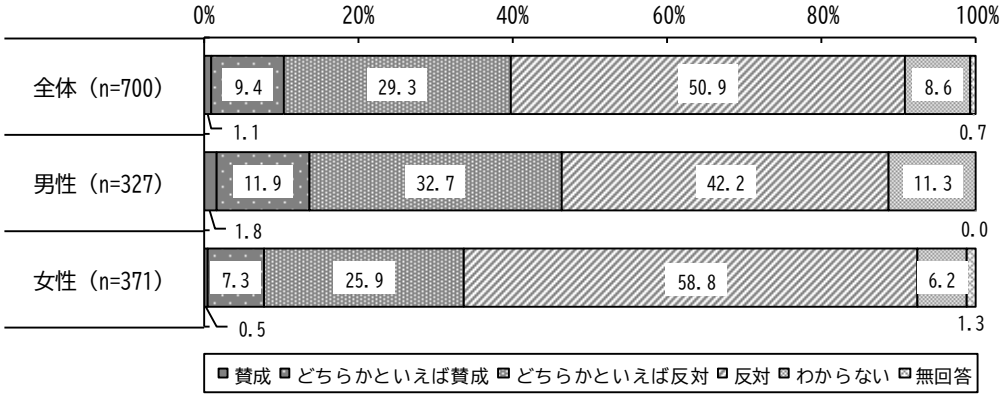
	賛成	反対
全体（n=700）	32.4%	52.6%
男性（n=327）	25.1%	62.7%
女性（n=371）	38.8%	43.7%

○職場でのお茶出しやコピーなどの雑務は女性の仕事



	賛成	反対
全体（n=700）	7.0%	82.6%
男性（n=327）	7.3%	83.5%
女性（n=371）	6.8%	81.6%

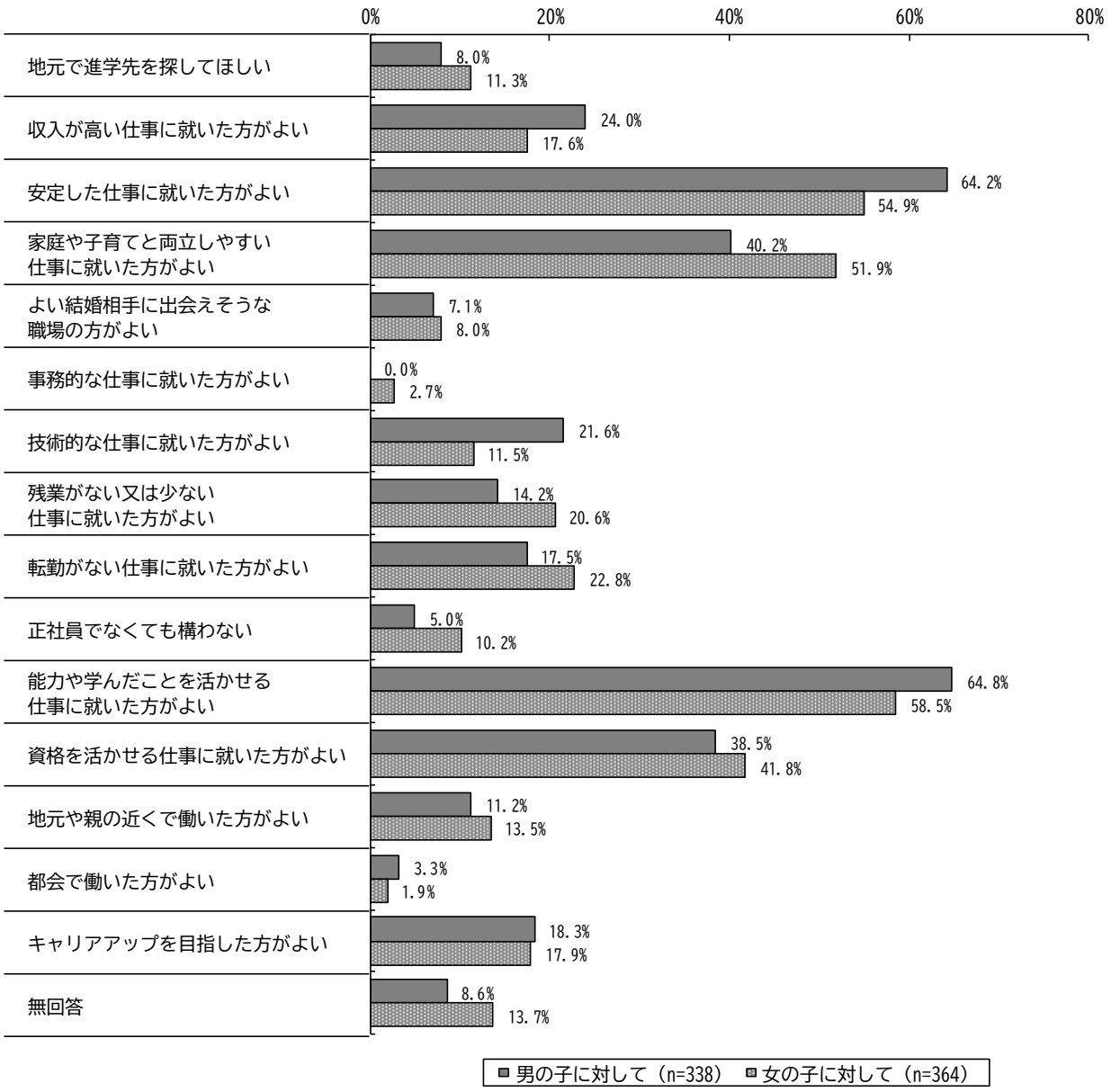
○家事・育児・介護は女性の仕事



	賛成	反対
全体（n=700）	10.5%	80.2%
男性（n=327）	13.7%	74.9%
女性（n=371）	7.8%	84.7%

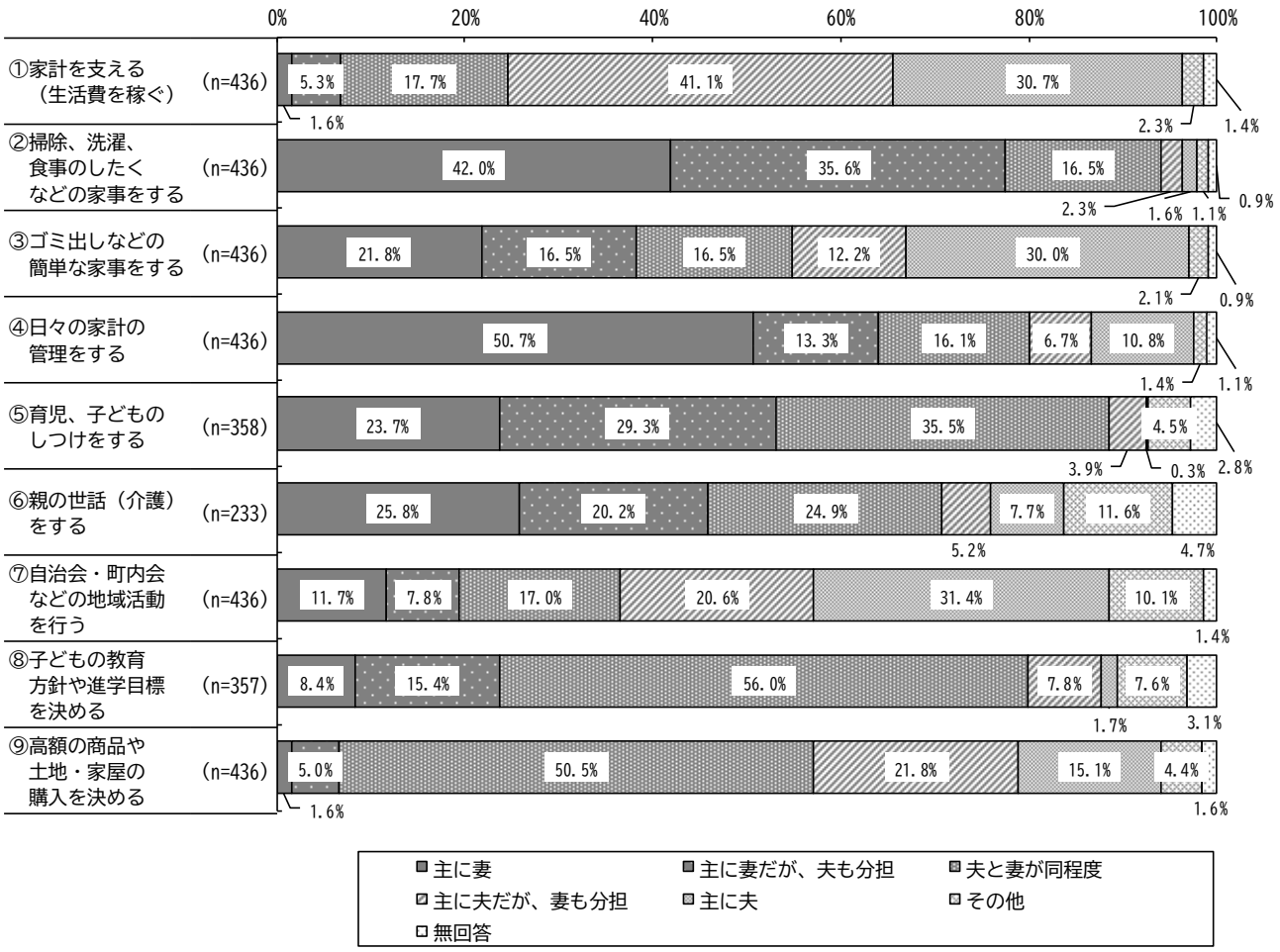
◇「職場でのお茶出しやコピーなどの雑務は女性の仕事」以外の項目は、住んでいる地域や勤務先に「ある」（「よくある」＋「時々ある」）と回答した人が多かった。また、いずれの項目においても「ある」と回答した人は女性が男性を大きく上回り、現状認識に差がある。一方、自身の考えとしてはいずれの項目においても「賛成」（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）より「反対」（「どちらかといえば反対」＋「反対」）と回答した人が多く、意識と実態の乖離が見られる。

Ｑ６．あなたは、自分の子ども（年齢を問いません）に対して次のような考えがありますか。
（複数回答）



◇自分の子どもに対して「安定した仕事に就いた方がよい」、「能力や学んだことを活かせる仕事に就いた方がよい」と考える人が多い。また、「家庭や子育てと両立しやすい仕事に就いた方がよい」と女の子に対して考える人の割合は、男の子に対して考える人よりも多い。

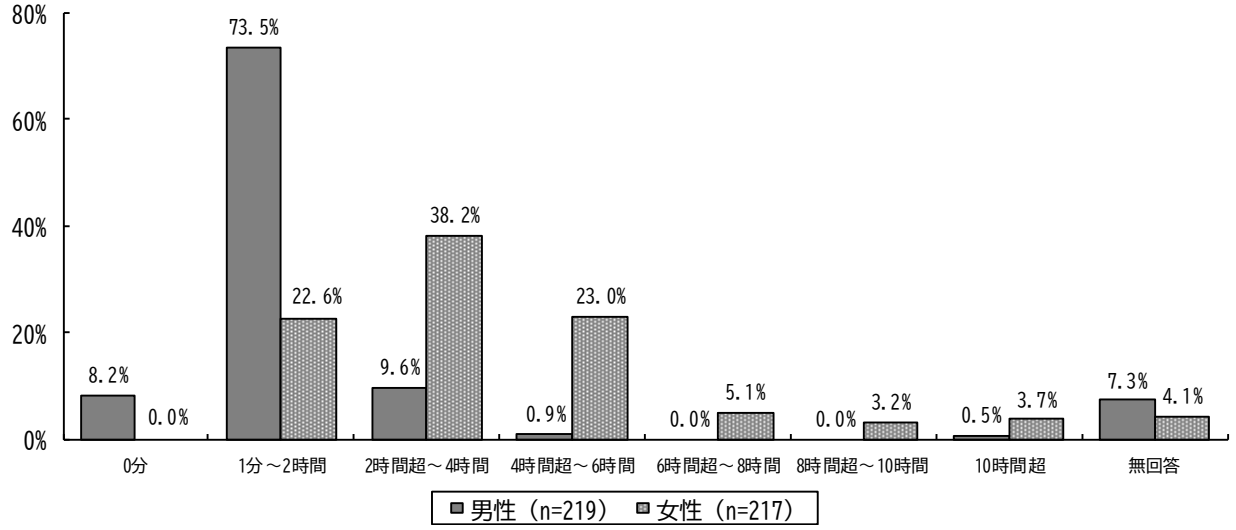
Q７．現在、配偶者（事実婚・パートナーを含む）のいる方に伺います。あなたのご家庭では、次にあげる家庭での役割を、主にどなたが担っていますか。



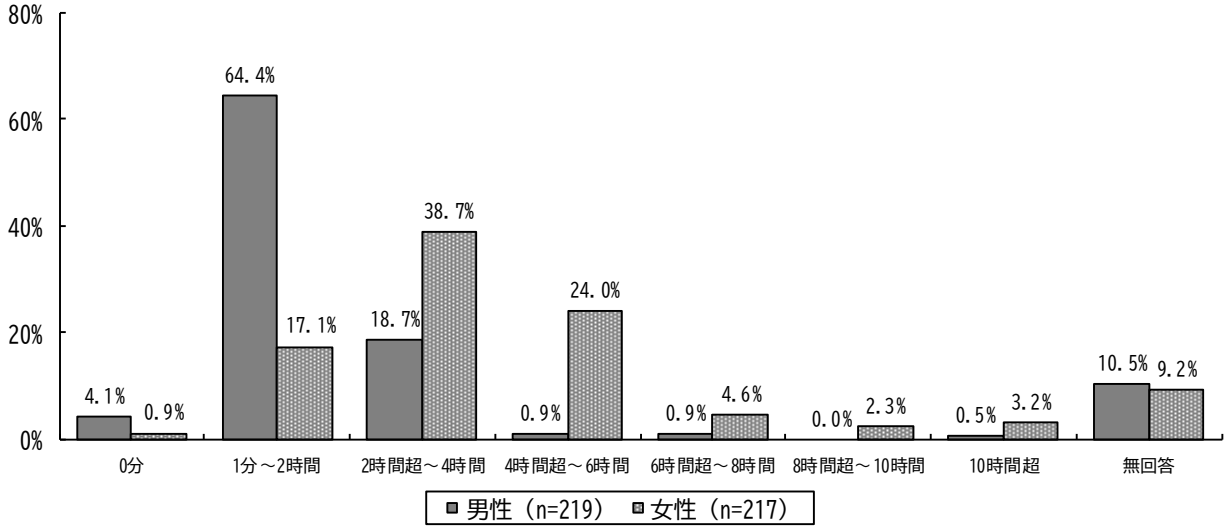
◇家庭での「家事」、「育児」、「介護」の担い手の主体は、依然として「女性」である。

Ｑ８．あなたは、１日の中で、家事を何時間ぐらいしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

【平日】



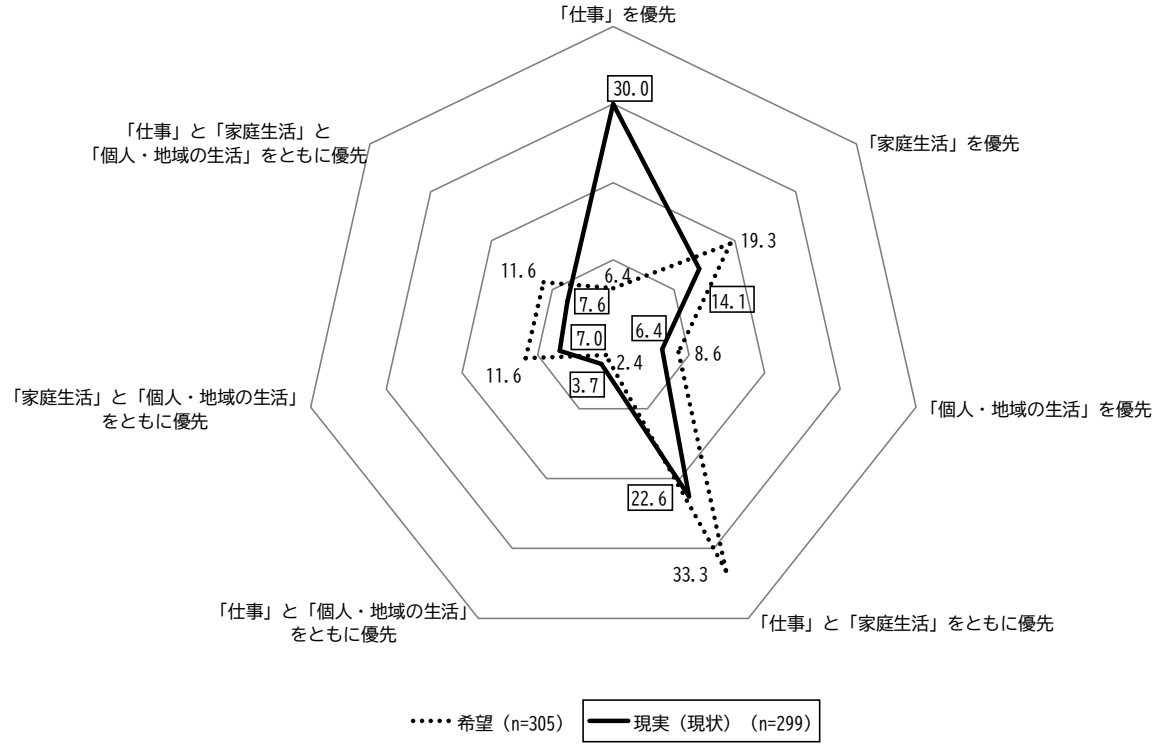
【休日】



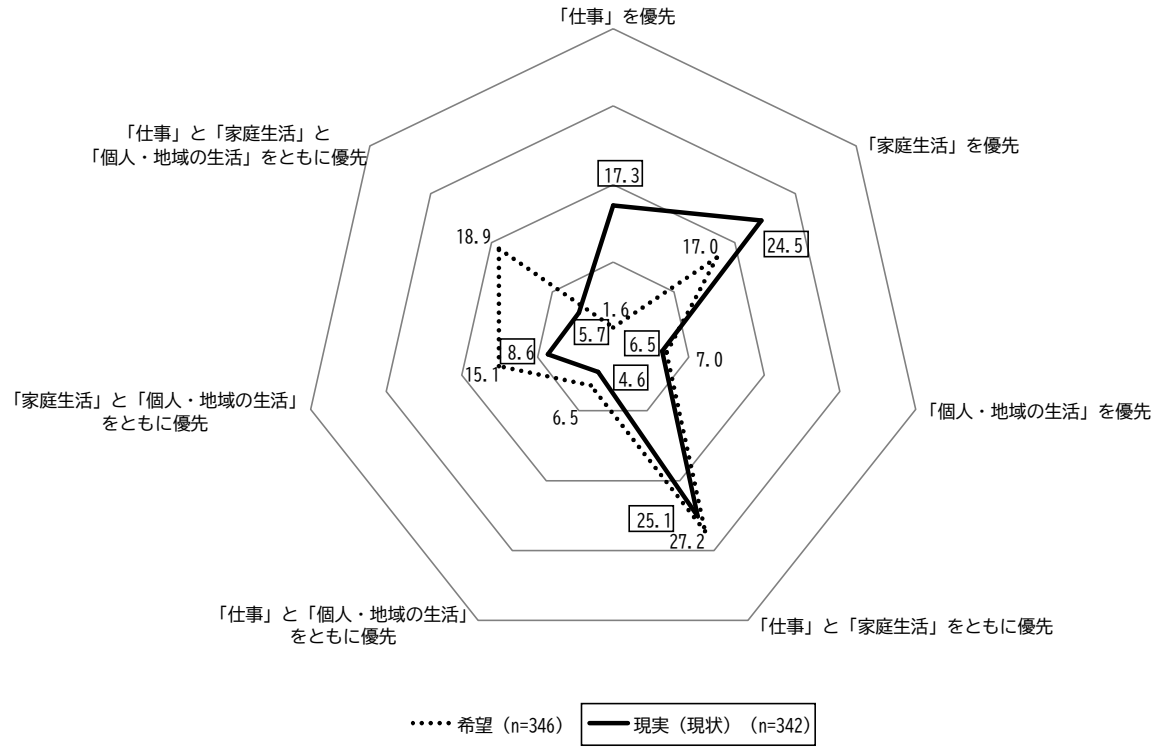
◇男性は「１分～２時間」が平日、休日ともに最も多く、女性は「２時間超～４時間」が平日、休日ともに最も多い。

Ｑ９．生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「個人・地域の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い）の優先度について、あなたの希望・現実（現状）に最も近いものはどれですか。

【男性】

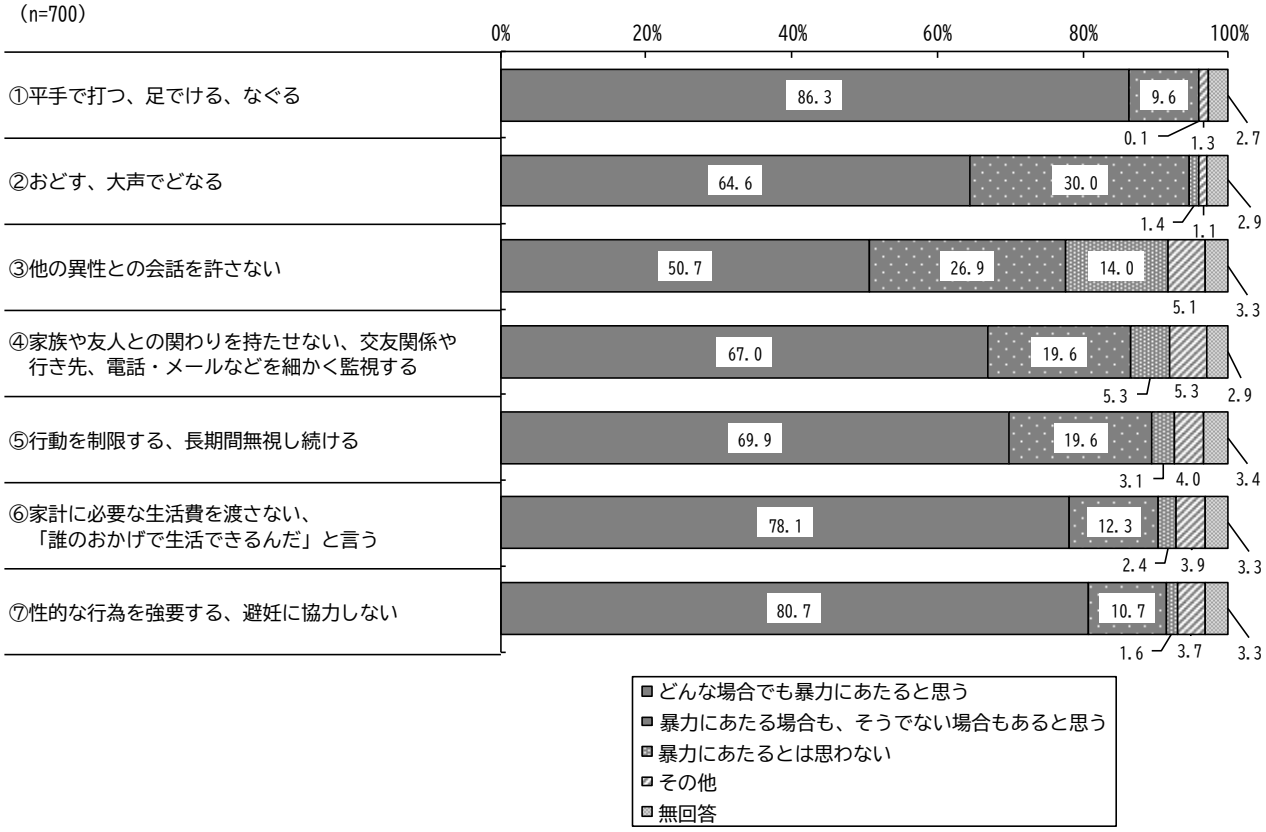


【女性】



◇希望としては、男性も女性も『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』したい人が多く、現実（現状）では、女性は『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』、『「家庭生活」を優先』している人が多いが、男性は『「仕事』を優先している』人が最も多い。

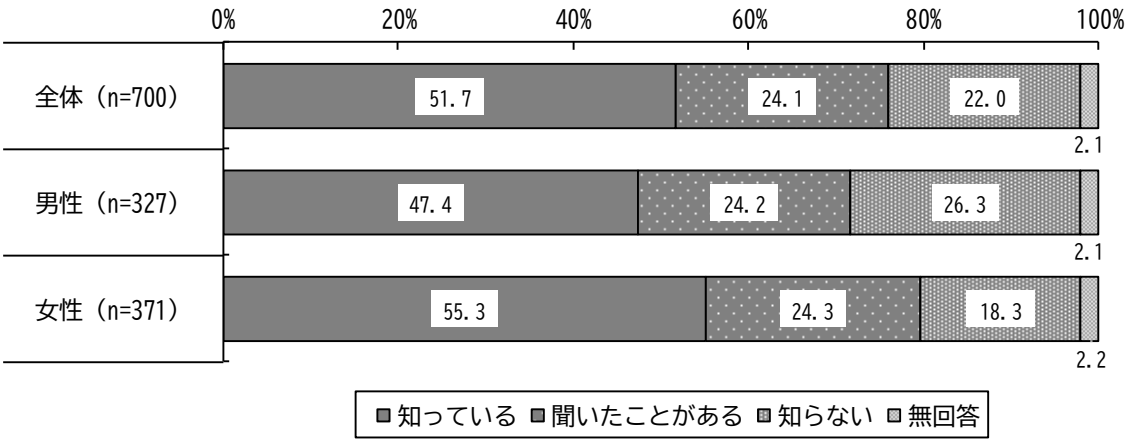
Q10. あなたは、次のようなことが夫婦・恋人など親しい間柄にあるパートナー間で行われた場合、それを暴力（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。①～⑦のそれぞれについて、あなたの考えに近いものをお選びください。なお、ここでの「夫婦」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦等も含みます。



◇いずれの項目も「どんな場合でも暴力にあたると思う」人の割合が最も高いが、「③他の異性との会話を許さない」については、「暴力にあたるとは思わない」人の割合（14.0%）が比較的高い。

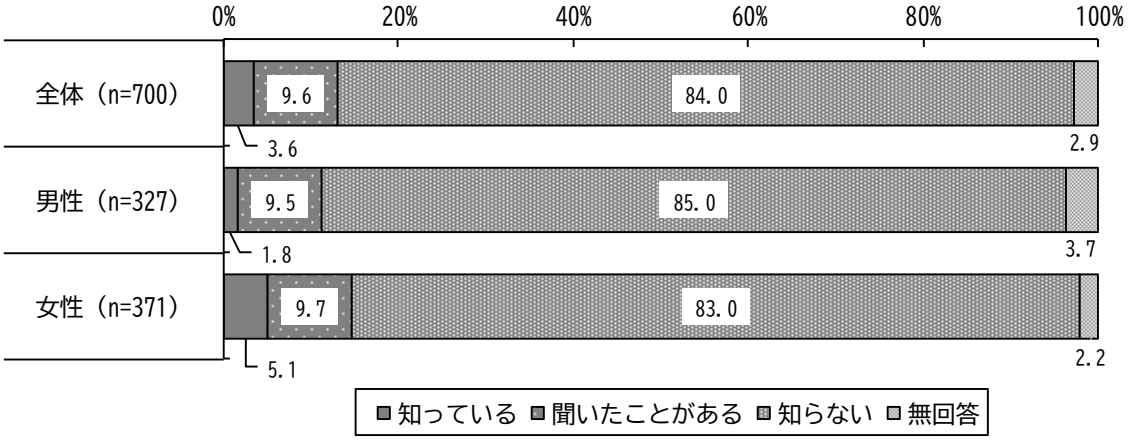
Q11. あなたは、次のことがらを知っていますか。

①ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）



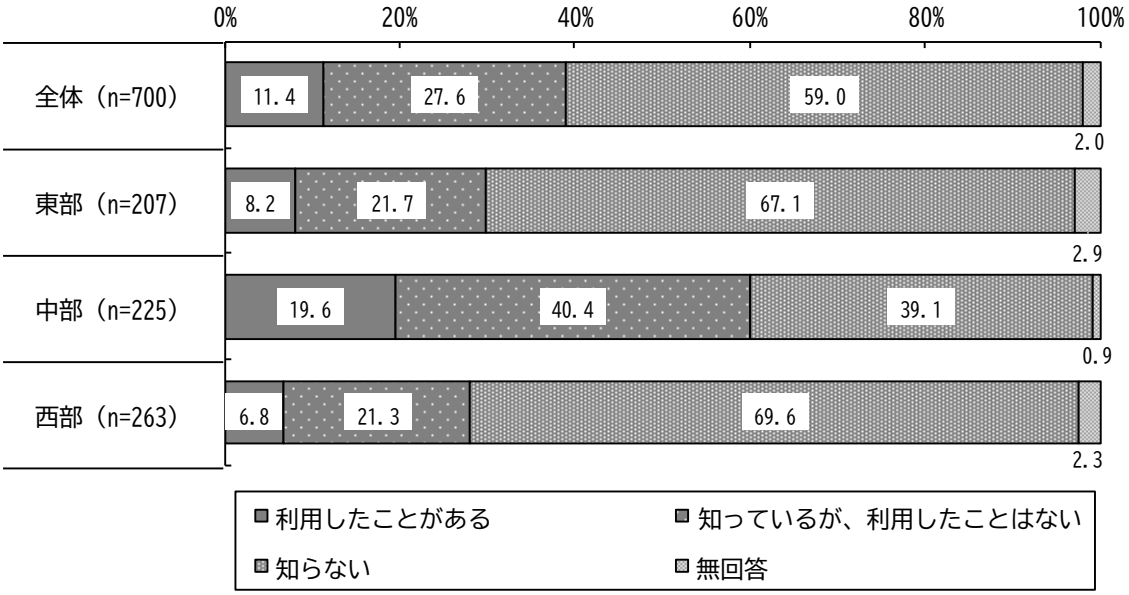
◇「知っている」と「聞いたことがある」の合計は 75.8%であり、「知らない」と答えた人は 22.0%である。

②リプロダクティブ・ヘルス／ライツ



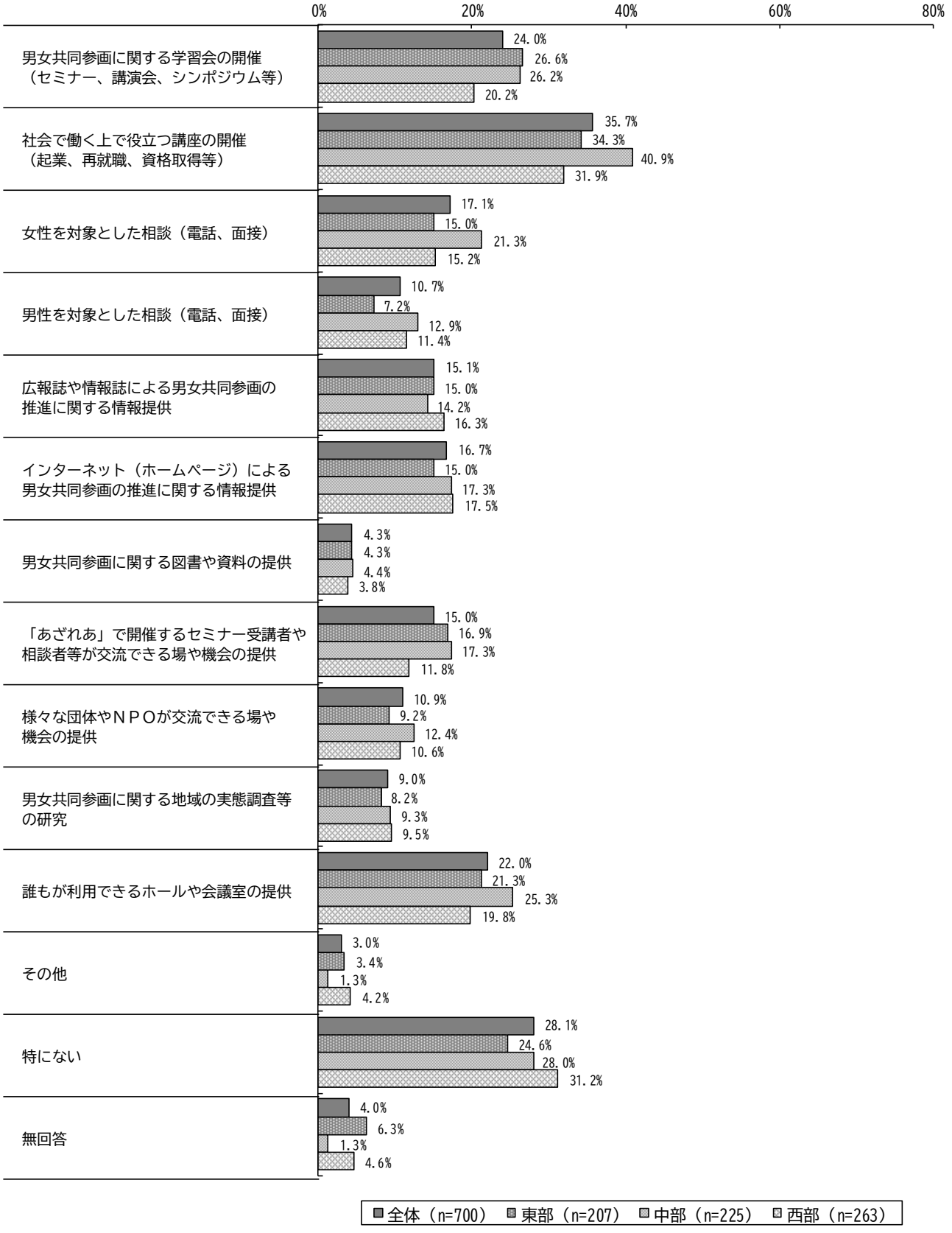
◇「知らない」が 84.0%で最も多く、「知っている」と「聞いたことがある」の合計は 13.2%と少ない。

Q12. 「静岡県男女共同参画センターあざれあ」を利用したことがありますか。



◇「静岡県男女共同参画センターあざれあ」を知っている人（「利用したことがある」＋「知っているが、利用したことはない」）人は中部在住者は60.0%の一方で、西部在住者、東部在住者は３割に満たない。

Q13. 「静岡県男女共同参画センターあざれあ」について、あなたは、この施設にどのような役割を期待していますか。



◇期待する役割として、「社会で働く上で役立つ講座の開催（起業、再就職、資格取得等）」と考える人が多い。